
天使の微笑みと死神の鎌

澄川仁人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

天使の微笑みと死神の鎌

【Nコード】

N0700Z

【作者名】

澄川仁人

【あらすじ】

その世界は戦争に蝕まれていた。理由も忘れ無限に繰り返される無意味な戦争。それがこの世界の常識とも言えた。ある時、そんな戦場に新たな力、フォースソルジャー魔科学兵士が投下された。

それから数十年後、コードネーム暗号名死神ことコウ・シークリッドと暗号名天使_ルことレイ・ミルティスが、戦場に赴くとき、物語は始まる。

ただ虚空なる戦場

ここはとある戦場。権力争い、貧富の差、テロ、集団決起、欲望。もはや何が生んだのかさえ分からなくなってしまった争いの場。

幾万の兵士たちは今日も剣を構え、銃を撃ち、己の意思をぶつけ合う。

そんな戦場のさ中に、ある戦士が、降り立った。その戦士はどちらの味方でも無い。

その戦士を見た者は、ある者は恐れおののき、ある者は一目散に逃げ出し、ある者は呟いた

「……死神だ」と。

その戦士が死神と呼ばれている理由は、もちろんその残虐性から……ではない。

その理由は戦士が持っている武器のことだ。

その戦士の武器は鎌だった。普通の鎌に比べてあまりにも巨大な、身長をゆうに超える大きさの鎌。

そして、持っているという表現は正しくない。だが、背負っているわけでもなく。ただ、引きずっている。

その鎌の取っ手についているまたしても長大すぎる鎖を持って。

その武器は見た人にこう言わせる。

死神の鎌と。

そう、その戦場にはあまりに似つかわしくない武器を所持していることからこの戦士の暗号名は死神だ。コードネーム

もちろん敵がこちらの暗号名を知っているはずもないので、今奴らから漏れた呟きはそのままその戦士の外見が死神に見えることを表すのだろう。

その姿を見て、大半の者は戦意を消失してしまったようだが、一部果敢にも挑もうとした兵士たちが、集団となって、死神に襲い掛かる。

が、すべては無駄なものとなった。

死神はただ、鎖を振うことによってその集団全てを薙ぎ払った。

それでも、この人災とも呼べる者に挑もうとする兵士は、己の武器を用いて襲い掛かった。

不思議なことに、つい先ほどまで争っていた敵と協力するという空気にすら生まれていた。

死神はそれら全てを寄せ付けなかった。

その異常な鎖鎌と呼べるかも怪しい代物をまるで手足のように扱って。

ただ全てを薙ぎ払った。

やがて、死神に挑もうとする勇者は現れなくなった。

そこで起きた、ただ長い静寂の中で、死神の呟いた言葉は、地に倒れ、動けなくなった兵士たちにとって、何よりも意外な一言だった。

「思ったより、楽だったな」

死神はその場を立ち去る。ぼー然としている兵士たちなどまるで存在しないかのように、悠然と。

死神の名は、コウ・シークリッド。

フォースソルジャー
彼は魔科学兵士である。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0700z/>

天使の微笑みと死神の鎌

2011年12月2日19時59分発行